

絶対的な技術を駆使して 信頼性の高い製品を生み出す

熟練の経験と勤がとけあう職人技

地元農家の鋤や鉞をまかなう鍛冶屋として創業し、現在は家電から自動車・航空機部品まで多様なプレス加工を請け負う株式会社加藤製作所。その第二社長は、自身の経営の基本姿勢を、「未来の先取り」と捉える。「企業は安定的に存続することが最も重要です。そのためには既存の受注や旧来の製品だけでは十分とはいえません。新を求めするために、常に二、三年先の製品化を念頭に置いて、技術力アップを図っています」

金属加工の世界では、一枚の金属板を变幻自在に成形する技が求められる。その技術レベルは業界内でも千差万別である。「機械さえあれば誰でも作れる物と、機械だけでは作れない物があります。人間の手に蓄積される独自の経験と勤こそが、企業の行く末を握る鍵なのです」

どの業者でも作れる物なら、必ず価格競争となる。価格に左右されない絶対的な技術を有することが、企業アピールに通じると加藤社長は考える。同社にとつての「絶対」は、絞り加工と呼ばれる難度の高い工法だ。ホームページ内に技術情報サイトを作成し、無料の解説書も配布して周知に努めている。「自ら売り込むのではなく、サイトを閲覧された方に当社を選んでいただく。私共が「御社に伺っていいですか」というのと、先方から「商談に来てください」とでは、まったく違う展開になります。後者ならば100%担当者との実のある話ができます」



朝礼で意識するのは「元気と快活さ」



ベテランと若手のベストミックスが大きな特長。お互いが良い刺激を共有している



父親で会長の幸平氏と共に、「社員の喜びがお客様の喜びになることを父から学びました」と加藤社長（左）

匠の伝統技法を
現代に奏でる



株式会社 加藤製作所 岐阜県中津川市倫理法人会

所在地 岐阜県中津川市
駒場447-5
電話 0573-65-4175
代表取締役社長 加藤 景司
創業 業 明治21年
資 本 金 2000万円
従 業 員 105名
業 務 内 容 金属製品製造



絞り加工とは、円筒・角筒・円錐など、様々な形状を成形する工法

